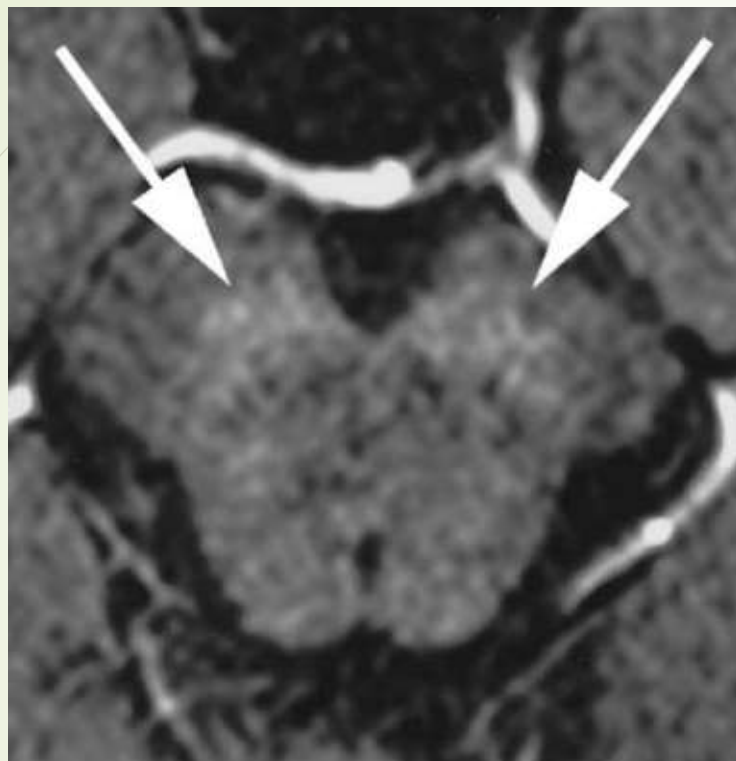




両側の大脳脚にある黒質と呼ばれる部分のニューロメラニンを可視化した画像(左側の図の矢印が示す淡く白い領域)。通常の画像(右側)では同定するのは難しいことがわかる。

ニューロメラニンはパーキンソン病において減少することが示唆されており、新たな診断法に結びつく可能性がある。

※掲載した画像は同一人物で、健常者の大脳脚